

目次

最新情報	1
新機能	1
V2.00の追加	1
V1.30の追加	1
V1.20の追加	1
V1.10の追加	2
V1.02の追加	2
メンテナンス項目	3
V2.00の修正	3
V1.30の修正	3
V1.20の修正	3
V1.10の修正	3
V1.02の修正	3
V1.01の修正	3
ファームウェアバージョンの確認	4
ファームウェアアップデート手順	4

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にてご確認ください。

新機能

V2.00の追加

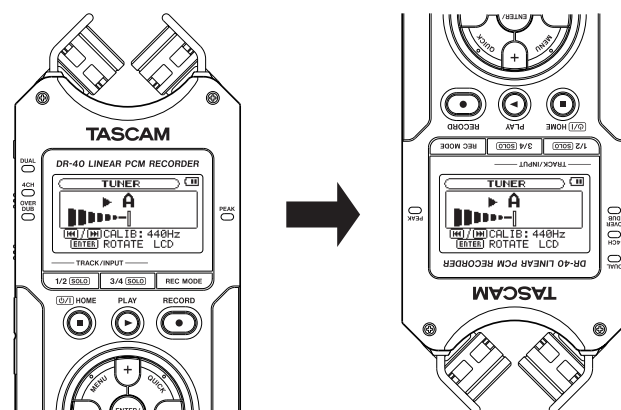
- 128GBまでのSDXCカードが使用できるようになりました。
- 外部での動画編集時において便利なオートトーン機能を追加しました。
- マーク位置によるファイル一括分割機能（AUTO DIVIDE機能）を追加しました。

V1.30の追加

- 欧州待機時電力規制（ErP）対応のため、ACアダプター接続時にもオートパワーセーブ機能が動作するようになりました。
初期設定では、オートパワーセーブ機能の設定が30分となっており、無操作状態で30分経過すると自動的に電源がオフ（スタンバイ状態）となります。
オートパワーセーブ機能の設定を変更したい場合は、“**SYSTEM**”メニュー中の“**AUTO PWR SAVE**”項目で電源がオフ（スタンバイ状態）になるまでの時間を設定します。
詳細は、DR-40の取扱説明書・追補「ファームウェアV1.30の追加機能」をご覧ください。

V1.20の追加

- チューナーが使い易くなりました
“**TUNER**”画面中に**ENTER/MARK**ボタンを押すと、画面の上下が反転します。
内蔵マイクをチューナー使用者に向けた時に、表示が分かりやすくなりました。



V1.10の追加

- **EXT IN**の入力レベルを**L**チャンネル／**R**チャンネル個別に設定できるようになりました。

“**REC MODE**”画面中の入力選択（“**SOURCE**”または“**EXT IN**”）を“**EXT INDEP.**”に設定すると、**EXT IN**の入力レベルを**L**チャンネルと**R**チャンネルで別々に設定にすることができます。

ホーム画面表示中に、左サイドパネルの**INPUT LEVEL (+ / -)** ボタンを使って入力レベルを調節します。

入力レベル設定対象（**L** / **R**）の切り換えは、以下のボタンを使用します。

- “**REC MODE**”項目が“**STEREO**”、“**DUAL**”、“**OVERDUB-SEPARATE**”の場合は、**1/2 [SOLO]** ボタンを使用。
- “**REC MODE**”項目が“**4CH**”、“**OVERDUB-MIX**”の場合は、**3/4 [SOLO]** ボタンを使用。

メモ

- “**EFFECT**”画面の“**SOURCE**”項目を“**EXT IN**”または“**INT MIC**”に設定し、入力音にエフェクトを掛ける場合、エフェクト音には**L**チャンネルと**R**チャンネルの成分が含まれるため、録音結果に反対側のチャンネルの音が混ざります。
- “**REC MODE**”画面中の入力選択（“**SOURCE**”または“**EXT IN**”）を“**EXT IN 1/2**”に設定すると、**EXT IN**入力レベルは**L**チャンネル／**R**チャンネルで共通となります。

V1.02の追加

- 4チャンネル録音時の**EXT IN R**チャンネルミュート機能
“**REC MODE**”画面中の“**REC MODE**”が“**4CH**”に設定されている時、“**EXT IN**”設定項目により、**EXT IN**の**R**チャンネルをミュートする機能が追加されました。この機能により、**EXT IN L**チャンネルの入力のみを使用して内蔵マイク+モノラルマイクの3チャンネルとして使用することができます。
作成されるファイルは、2つのステレオファイルで**EXT IN R**チャンネル側がミュートされた状態となります。

- “**REC MODE**”項目を“**4CH**”に設定時のディレイ時間を拡張しました。

最大150msまでのディレイ時間を設定することが可能になりました。

- “**REC MODE**”項目を“**4CH**”に設定時のディレイ時間を、**L**チャンネルと**R**チャンネルで別々に設定することができるようになりました。

音源から**INT MIC**、音源から**EXT IN L**チャンネル、音源から**EXT IN R**チャンネルの各距離に差がある場合、**INT MIC**位置を基準に**EXT IN L**チャンネルと**EXT IN R**チャンネルのディレイ時間を設定し、時間差を吸収する事ができます。

- 入力レベル設定のブルアップ表示を、入力ソースに対応した表示に変更しました。

注意

“**EXT IN**”項目が“**EXT IN 1**”に設定されている場合、録音時にエフェクター機能は動きません。

メモ

モニター状態で**EXT IN**の**L**チャンネルをセンターに定位させたい場合、録音または録音待機状態で**MIXER**ボタンを押し、“**MIXER**”画面の3チャンネルの“**PAN**”を“**C**”（センター）に設定してください。

メンテナンス項目

V2.00の修正

- トラックインクリメント設定を時間単位に変更しました。
- 動作の安定度が向上しました。

V1.30の修正

- 動作の安定度が向上しました。

V1.20の修正

- 本機以外で録音されたMP3ファイルを再生ファイルとして“SEPARATE”モードでオーバーダビングを行い、再生時にジャンプバック、早戻し、早送りなどを行うと、1/2チャンネルと3/4チャンネルの音がずれる件を修正しました。
- VSA再生中に早送り／早戻しを行うと、その後の再生動作で音量が小さくなることもありましたが、これを修正しました。
- チューナーの感度が向上しました。

<Ver1.10以前のF/Wで“SEPARATE”モード

オーバーダビングを行ったプロジェクトについて>

- 再生ファイルが本機の設定で録音できるビットレートの場合 (32k/64k/96k/128k/192k/256k/320kbps)
Ver1.10以前のF/Wで録音されたプロジェクトの再生時にジャンプバック、早戻し、早送りなどを行ってもずれは生じません。
- 再生ファイルが本機の設定で録音できないビットレートの場合 (48k/56k/80k/112k/160k/224kbps)
Ver1.10以前のF/Wで録音されたプロジェクトは、再生時にジャンプバック、早戻し、早送りなどを行うと1/2チャンネルと3/4チャンネルの音にずれが生じます。
Ver1.20以降のF/Wを使用して録音を行ってください。

V1.10の修正

- SDカードの空き容量が4GB以上ある場合にミックスダウンを実行すると、“CARD FULL”のエラーとなりミックスダウンができない症状がありましたが、これを修正しました。
- 動作の安定度が向上しました。

V1.02の修正

- “REC MODE”画面の“REC MODE”項目が“DUAL”かつ“SOURCE”項目が“INT MIC MONO”または“EXT IN 1”に設定されている場合、録音画面内のDUAL側のピーク値デシベル数値が正常に表示されない症状がありましたが、これを修正しました。
- MP3フォーマットで録音されたファイルをI/Oループ再生した場合、正常にI/Oループ再生ができない症状を修正しました。
- 動作の安定度が向上しました。

V1.01の修正

- “REC MODE”画面の“REC MODE”項目が“STEREO”もしくは“MONO”に設定された状態で録音を行うと、録音残量表示が少なく表示され、SDカードに残量がある状態で“Card Full”表示となり録音が停止する症状がありましたが、これを修正しました。
- 特定のSDカードで録音中に“File Error”が発生することがありましたが、これを修正しました。
- 動作の安定度が向上しました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのDR-40のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って“OTHERS”メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンを押して、“OTHERS”サブメニューを表示します。
4. +ボタンまたは-ボタンを使って“INFORMATION”メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンを押します。“INFORMATION”画面の“FILE”ページを表示します。

5. +ボタンまたは-ボタンを使って“SYSTEM”ページを表示します。ここで表示される“System Ver.”（ファームウェアバージョン）を確認してください。

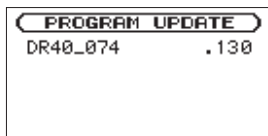
ここで表示される“System Ver.”が、これからアップデートしようとしているファームウェアバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

ファームウェアアップデート手順

注意

ファームウェアアップデートは、電池残量が十分にある状態もしくは、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）から電源が供給されている状態か、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で駆動している状態で行ってください。
電池の残量が少ない状態では、アップデートは行えない仕様となっています。

1. TASCAMのウェブサイト（<http://tascam.jp/>）より最新のファームウェアをダウンロードします。ダウンロードを行ったファイルがZIP形式等の圧縮ファイルの場合は解凍してください。
2. 本体の電源を入れて、付属のUSBケーブルでパソコンに接続します。本機が外部ドライブ（外部記憶装置）としてパソコンに認識されます。
3. ダウンロードしたファームウェア（V1.30の場合はDR40_074.130）をDR-40内にある《UTILITY》フォルダーにコピーします。
4. コピーが終わったら、パソコンから本機を正しい手順で切り離れた後、本体の電源を切ります。
5. MIXERボタンと◀◀ボタンを同時に押しながら本体の電源を入れます。本体がアップデートモードで起動し、画面にアップデート用ファイルが表示されます。

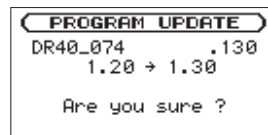


注意

- この画面が表示されない時は、一旦電源を切って、MIXERボタンと◀◀ボタンを同時に押しながら再度電源を入れてください。MIXERボタンと◀◀ボタンは、この画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。
- Macから本機の《UTILITY》フォルダーにファームウェアをコピーした場合、ファームウェアのほかにファームウェアの名前の先頭に“.”がついたファイルが表示されることがあります。先頭に“.”のついていないファイルを選択してください。

メモ

- この画面には、本機の《UTILITY》フォルダー内にあるファームウェアアップデート用のファイルがリスト表示されます。上記の3.でコピーされたファームウェアも表示されます。アップデート用のファイルが無い場合は“No Update File”と表示されます。
 - 画面は一例で、実際の表示とは異なります。
6. ファームウェアを+ボタンまたは-ボタンを使って選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンを押してください。以下の画面が表示されます。



左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョンナンバーが表示されます。

メモ

画面は表示例で、実際の表示とは異なります。

7. ENTER/MARKボタンを押すと、アップデートを開始します。
8. アップデートが終了すると画面下に“Update Complete”と表示した後、自動的に電源が切れますので、再度電源を入れてください。
9. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“System Ver.”が最新のファームウェアとなっていることを確認してください。以上で本機のアップデート作業は終了です。
10. USBでパソコンと接続して本機の《UTILITY》フォルダー内にあるファームウェアアップデート用ファイルを削除してください。